

## 日本島嶼学会 20 周年記念小笠原エクスカーショーン & ミニシンポジウム案内(2018.11.12 版)

日本島嶼学会設立 20 周年と小笠原諸島返還 50 周年を記念して、小笠原父島へのエクスカーショーンと公開ミニシンポジウムを開催します。ミニシンポジウムは、本会と首都大学東京小笠原研究委員会との共催で実施します。

### エクスカーショーンへの参加申込の〆切は 12 月 15 日(土)です。

氏名、所属、自宅住所、携帯番号、性別・年齢（おがさわら丸予約のため）を、以下あてにメール連絡してください。

申込先 可知直毅 副会長 kachi-naoki@tmu.ac.jp

### 期 間 2019 年 3 月 4 日(月)～3 月 9 日(土)

(参加者が 15 名以上の場合は、団体割引 (1 割引) の利用を検討します)

### 費用概算 約 10 万円 (12 月下旬に確定額を参加者に通知します)

(おがさわら丸 2 等和室往復約 52000 円 (団体の場合 1 割引)、民宿 (2 泊) 約 20000 円、懇親会 5000 円+ $\alpha$ 、ホエールウォッチング&南島 6000 円、弁当 (3/5、3/6、3/7) 3000 円、おがさわら丸内食事 6 回 8000 円、レンタカー 1000 円、その他 5000 円)

### 詳細日程(予定)

#### 3 月 4 日(月) おがさわら丸乗船

- 10:00 竹芝棧橋 船待ち集合 (JR 浜松町から徒歩 10 分)  
アクセス:<http://www.ogasawarakaiun.co.jp/access/>
- 10:30 おがさわら丸乗船  
船内案内:<http://www.ogasawarakaiun.co.jp/ship/>
- 11:00 竹芝出航



#### 3 月 5 日(火) 島内視察

- 11:00 二見港着 宿チェックイン  
民宿ウエスト <http://ogasawara-west.tokyo/main.html>  
100-2101 東京都小笠原村父島字西町  
tel 04998-2-2573  
手配業者 小笠原ツーリスト tel 04998-2-7771 <http://www.ogasawara-tourist.com/>  
1 泊 2 食付き 2 名 1 室 9780 円 懇親会日 (3/7) 夕食 1 回抜き (-1000 円)  
(1 名利用は 10890 円、3 名利用は 8670 円)
- 12:00 役場集合 村の概要説明 (渋谷正昭副村長) (弁当+お茶用意します)
- 13:30～16:30 村内視察 (村手配ハイエース(9 名) + 首都大研究施設のエクストレイル (7 名)  
村担当 和田東 総務課企画政策室主査 tel 2-3111  
訪問先候補:  
防災避難路 (保育園裏)、保育園、福祉センター、洲崎、浄水場、時雨ダム、

情報センター、診療所・太陽の郷、長谷（ながたに）（オガグワの森）、長崎展望台、環境省自然遺産センター ほか

### 3月6日(水) エクスカーション

首都大エクストレイル (7名) +ハイエース (10名) (レンタカー12100円+ガソリン代)

午前：歴史・文化を中心に 案内 延島冬生氏 (父島在住 元小笠原村職員)

昼食：各自 (または弁当)

午後：自然を中心に 案内 可知直毅副会長  
ネコ待合所、海洋センター、亜熱帯農業センタ  
東平カラスバトサンクチャリ、中央山など



一、

### 3月7日(木) エクスカーション&ミニシンポジウム

8:10 役場前 (村営バスで移動)

8:30 小港園地着

ブタ海岸まで徒歩往復 (案内：可知直毅)

12:00 小港海岸で弁当

12:55 小港海岸発 (村営バスで移動)

13:10 福祉センター着

### 13:30~17:30 小笠原返還50周年記念 ミニシンポジウム@福祉センター2階会議室

17:55 福祉センター発 (村営バス)

18:00 役場前着

18:10 懇親会 (立食) @チャラ (tel 2-3051) <http://r.goope.jp/izakaya-chara>

### 3月8日(金) ホエールウォッチングと南島

8:30 青灯台棧橋 ピンクドルフィン乗船 (スタンレイ船長) 080-8849-7307

<http://www.chichijimapinkdolphin.jp>

12:00 自由行動

昼食は各自

14:30 船待ち集合 小笠原太鼓など

15:30 出航



### 3月9日(土)

15:30 竹芝着

## 小笠原ミニシンポジウム日程(2018.11.12 版)

小笠原諸島返還 50 周年、日本島嶼学会設立 20 周年、首都大学東京の小笠原研究 50 年を記念して、日本島嶼学会と首都大学東京小笠原研究委員会の共催、小笠原村の協力で、半日のミニシンポジウムを開催します。発表者は、自然、人文、歴史など多様な分野の専門家や研究者です。それぞれの分野の研究成果を概観した上で、総合討論では、研究者に期待されることについて、研究者に加えて様々な立場の島の関係者も交えて議論します。

**【日時】** 2019 年 3 月 7 日(木) 13:30~17:30

**【会場】** 小笠原村地域福祉センター2階会議室

**【主催】** 日本島嶼学会／首都大学東京小笠原研究委員会

**【協力】** 小笠原村

**【テーマ】** 小笠原の自然と文化と歴史:研究者に期待されること

### 【プログラム】

13:30 趣旨説明 可知 直毅

13:40 23 年間の小笠原研究を振り返る

可知 直毅 (首都大学東京・理学部)

14:10 小笠原の気候・水文研究とコミュニティへの還元

松山 洋 (首都大学東京・都市環境学部)

14:40 小笠原ことばの研究とコミュニティへの還元

ロング ダニエル (首都大学東京・人文社会学部)

15:10 休憩

15:30 南洋から伝わった小笠原の音楽の系譜

小西 潤子 (沖縄県立芸術大学・音楽学部)

16:00 日米関係史における小笠原の特殊性と普遍性

真崎 翔 (名古屋大学・国際開発研究科)

16:30 小笠原諸島の古写真を読む

延島 冬生 (小笠原村在住・元小笠原村職員)

17:00 総合討論 小笠原研究者に期待されること

演者全員、島内関係者

17:30 閉会